

地域に視点をあてた事業展開 [高年]

「牧島荘」発、サロン活動の取り組みについて ～HAPPYの輪を広げよう、安心・安全・安住の地域を目指して～

要介護認定の結果、通所介護を利用できなくなった方が自宅に閉じこもりきりになるなど、地域の高齢者の日中活動の場が未整備の状況があった。地域住民誰もが楽しめ、要介護認定の有無にかかわらず生き生きと活動できる場の必要性を強く感じ、当施設主催の茶話会をもとにしたサロン活動に取り組んでいる。

長崎県

社会福祉法人 敬天会

〒851-0114 長崎県長崎市牧島町9-1

TEL：095-837-0310 FAX：095-837-0168

◇法人設立年

平成13年

◇法人実施事業

①経営施設（事業）数：3施設6事業

②経営施設・事業の種類：

特別養護老人ホーム…1、通所介護…1、短期入所生活介護…1、居宅介護支援…1、宅老所…1、長崎市立老人憩いの家東望荘（指定管理者受託施設）…1

◇法人の理念・経営方針

〈事業理念〉

敬天愛人

道は天地自然の物にして、人はこれを行なふものなれば、天を敬するを目的とす。天は人も我も同一に愛し給ふゆえ、我を愛する心を以て人を愛する也。

〈事業指針〉

ご利用者の立場で考えます

決めたことは必ずやり遂げます

創意工夫を持って仕事に取り組みます

常に自分を高める努力をします

お互いの理解と協力を大切にします

◇取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

牧島荘

【施設種別及び利用定員】

特別養護老人ホーム 50名

短期入所生活介護 10名

◇活動内容

○活動開始年

平成21年2月

○活動の対象者

地域住民 施設職員

○活動の頻度・時間

月に6回、1回あたり2時間程度

◇活動実施の背景、実施にいたった理由

介護予防が叫ばれ、「楽しみ・憩いの場」であった通所介護にも運動が取り入れられる等、機能が拡大された。結果、要介護認定で非該当となる方も増え、中には、通所介護を利用できなくなったと失望したり、閉じこもりになったりと、逆に要介護状態に戻るリスクを抱えてしまう方も多い。その高齢者の受け皿として期待される特定高齢者事業も十分に機能しているとはいえず、行政が推進している「ふれあいいきいきサロン」も未実施の地域であった。

そこで、地域住民誰もが楽しめ、要介護認定の有無に関わらず生き生きと活動できる場の必要性を強く感じたことが、この活動実施に至った理由である。

◇実施内容

①東望荘サロン

「長崎市立老人憩いの家 東望荘」は、当法人が長崎市より指定管理者として受託している施設である。そこで、当法人が経営する牧島荘が茶話会を開いたことがきっかけとなり、参加者の声を形にして毎月1回サロンを開催している。

②フレンドリー会・お楽しみ会・バラ色元気会

長崎市の他地域で盛んに活動しているサロンを、牧島荘と近隣の民生委員・児童委員たちと見学する。その活動に共感した民生委員・児童委員が「フレンドリー会」を開催し、それがモデルとなり「お楽しみ会」・「バラ色元気会」をその仲間が開催した。牧島荘はそれぞれの立ち上げのバックアップを行った。

③牧島書道クラブ

牧島荘の近隣住民からの要望があり、牧島荘にて書道クラブを開催した。ケアマネジャーが地域中心となって、地域住民や地域のさまざまな機関と連携し、それぞれの地域にあったサロン活動に取り組むことで、長崎の小さな町・牧島からHAPPYの輪が広がっていく活動である。

◇活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

サロン参加者は、活動の中で自分たちが「誰かの役に立てる」という自信を持ち、生き生きとした表情が見られるようになった。また、行政の力に頼らず、「自分たちの地域の課題は自分たちの力で解決していく」という意識が高まり、ボランティア活動等へも関心を持つようになった。サロン活動や牧島荘の取り組みを東長崎ケアマネジャー勉強会で紹介したことで、他事業所のケアマネジャーも地域活動への意識が高まり、さまざまな協力・連携が得られるようになった。

法人内の他事業所の職員も地域のことに関心を持つようになり、地域活動委員会を発足した。入居者・職員も地域の一員として地域行事に参加するようになり、地域との関係性が深まった。



◇今後の展開

もともとサロンが身近になかったため、その活動内容や効果への地域住民の理解がまだ充分とはいえない。現在活動している5か所のサロンを地域にもっとPRし、足を運んでもらい、サロン活動の核となっていく「人財」を、関係機関と連携して育成していきたい。

「HAPPYの輪を広げよう」をテーマに、サロン活動に興味を示してくれる人・老人会・地域住民とさまざまな施設・事業所を結びつけていく。この取り組みを1つのモデルとして多くの場で紹介し、共感してくれる仲間を増やしていくことを考えている。



◇主な経費や財源及び人員等

- ・ 取り組みにかかわった職員数 7名
（職種等：介護支援専門員、介護職員、看護職員）